

タイのサイアムヤマモリを視察しました！

1月21日(木)、株式会社ヤマモリ(社長:当中央会副会長 三林憲忠氏)のタイ工場を視察訪問するため、当レディース中央会の会員を中心とした11名は中部国際空港へ集結、タイ国際航空で一路バンコクへ向いました。

今回の訪問は、レディース中央会会員の1人がタイ滞在中であることや、旅行会社関係の会員がいること、親会である中央会が本年度実施した先端企業の視察先が株式会社ヤマモリであったことなどから実現したものの。

1月の当地は、熱帯地方にあって乾季の28℃と過ごしやすく、絶好の観光シーズン。到着の夜一行は、早速お勉強。現地の日本人女性経営者であるスミタ・カルチャー・センター&プロダクションのジェネラルマネージャーである住田千鶴子氏からタイの基礎知識として、貧富の差が激しいことや日々の生活を楽しく快適に過ごすことができれば良いというおっとりとした国民性であること、また、地震がないため建物に地震対策が施されていないことなどの現状と、簡単なタイのあいさつについて学びました。



翌日、多くの日本人客が溢れかえるバンコク市内中心部からバスで走ること約3時間。



サイアムヤマモリ

のどかな田園地区の1画に26,583m²という敷地面積を誇るサイアムヤマモリはあります。

サイアムヤマモリでは、タイメニューを日本に紹介しようという本格的なタイ味のレトルトパウチ食品とタイ在住日本人向けのレトルトパウチ食品を主に製造しています。

通常、タイ人の朝食はおかゆが多いそうですが、その朝食に合うスープとしてクロワッサンとともに食べてもらえるよう開発中の「トムヤムクン with チーズ」やヤマモリ製品の



サイアムヤマモリ製品の数々

ホワイトソース、デミグラスソースを使用したポテトグラタン、ビーフシチューなどを、工場見学のあと試食させていただいたところ、参加者全員がおいしいと大好評。株式会社ヤマモリのタイにかける思い、「タイとニッポンの食の掛け橋」を実感しました。

3日目には、王宮、エメラルド寺院、世界遺産のワットマハタートなどの観光を行いました。レディースメンバーは、異国食文化に触れ、異国食情緒を満喫して帰国。楽しい中にも大いに「学び」があった旅でした。



サイアムヤマモリ前にて